

身高 Dream Project

産業社会と人間 ～職業人インタビュー始まる～

身高Dream Project は夏季休業中も行われます。

1年次生は「夢の発見」のために、『職業人インタビュー』に出掛けます。生徒だけでアポをとるところから始まり、訪問前には質問を検討し模擬インタビューなど行いました。プロの方に直接お話を聞くことで、興味を持つ職業に対する理解を増すと共に、職業観を深めることにつながります。

2年次生は、「夢の育み」としてオープンキャンパスやインターンシップに積極的に参加します。実際にキャンパスを歩き、模擬講義に参加し、教授や在校生と交流をすることで自分の進学先を肌で感じます。インターンシップでは、介護や保育の現場で仕事を体験し、仕事への理解を深め経験を積みみます。

3年次生は「夢の実現」のために取り組んでいます。進学希望者は進学課外を受講し個々の実力の伸長を図り、模擬試験を受験して全国単位で自分の学力位置を確認します。また結果を分析し、次回への改善点を模索します。就職希望者は就職ガイダンスを受講し、心構えや模擬面接を経験しました。また応募前職場見学にも積極的に参加します。



今年度の職業人インタビュー先の例

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 山梨県立中央病院 | 劇団俳協千駄ヶ谷事業所 |
| 富士急ハイランド | 大野山保育園 |
| 東京クールジャパン
(ゲームプログラマー) | 身延中学校 |
| インテリア マノワ (デザイナー) | ダイヤプロフェッショナルジャパン
(土木建築資材) |

特進クラス

特進クラス登校学習会

本年度も1・2年次生の特進クラスの生徒を対象にした4日間の登校学習会を実施しました。生徒たちは自分で学習目標や学習計画を立て、自学自習に取り組みました。教員も指導にあたりましたが、大学に進学した先輩方にもチューターを引き受けてもらいました。学習指導だけでなく、受験体験談や大学での学生生活など進路実現に向けた様々なアドバイスをしてもらいました。



連携型中高一貫教育

～サマーセミナー&防災サマーキャンプ～

身延高校は、「生徒一人一人の進路実現を目指して」をキャッチフレーズに、中学校と高等学校の6年間を通して「地域の将来を考える人材の育成(生徒づくり)」を目指し、確かな学力と豊かな人間性を育み、地域と協働してキャリア教育を進める連携型中高一貫教育を本格始動させています。

この夏も、高校教員が指導する高校受験対策学習会「サマーセミナー」や、南海トラフ巨大地震を想定し、地域の防災リーダーの育成を目指した防災体験学習「防災サマーキャンプ」など様々な活動を行いました。これらの活動を通じ、身延高校・身延中学校・南部中学校の3校で、「学力の向上」「豊かな人間性の育成」「地域との協働」の3つの教育目標を柱として連携を図り、地域への理解を深め、社会形成に主体的に貢献できる人材の育成を目指しています。



高大連携

平成26年度から始まった山梨県立大学との「高大連携事業」も6年目を迎えました。昨年度は『峡南地域の就職(職業)について～13歳のハローワーク(身延版)～』のテーマのもと、峡南地域の現状を学習しました。様々な企業の方にインタビューなどで協力していただき、それらをまとめたリーフレットの作成まで行いました。本年度は昨年度までの取り組みから更に詳しく調査しまとめることを目標に、精力的に活動に取り組んでいます。

7月下旬に、ここまでの調査・学習状況をグループごとにまとめ、山梨県立大学において大学の先生方への発表を行いました。大学の先生方から、今後の調査、検証の方向性などについてアドバイスをいただくなど、有意義な時間となりました。



SHINKO 身高VIEW

Vol.10
2019.September
MINOBU
HIGH SCHOOL

学生生活充実号



第70回 身高祭



1日目
文化部門

★1年次 クラス合唱 ★2年次 創作ダンス
★3年次 創作劇 @身延町総合文化会館



2日目
文化部門

身高コレクション・クラス企画・模擬店・文化部展示など
@身延高校



3日目
体育部門



Cブロックブロック長
羽田虎太郎
【鵜沢中学校出身】

私は2年次生の時から、高校最後の学園祭ではブロック長を務めたいと心に決めていました。それは、先輩たちを見て大変な仕事だと理解していましたが、その達成感をどうしても味わいたと考えていたからです。インターハイ出場に向けた関東大会と平行してブロック長の仕事をしてみると、それは想像を超えるほど大変でした。しかし、その分やり遂げたときの達成感は何物にも変え難いものになりました。3名のブロック長同士で励まし合い、全生徒の協力のおかげで素晴らしい学園祭が作れたと満足しています。

生徒会長
藤田美久【押原中学校出身】



身延高校の学園祭である『身高祭』は、生徒数が少ないため全校で協力し合うことで作り上げることができました。だからこそ、全校生徒で楽しむことができる魅力があります。今年の身高祭もクラスや年次の垣根を越えて思い切り楽しむことができました。もちろん学園祭当日だけでなく、企画準備などの期間を通じていろいろな面で成長することもできたと感じています。3日間という短い期間でしたが、沢山のことを感じる事ができ、私たちの素晴らしい思い出になりました。

夏の輝き

野球部



野球部3年 笠井康生【身延中学校出身】

私たち野球部はスローガン「結」のもと、夏の大会でベスト8進出を目標に日々の練習に打ち込んできました。初戦の駿台甲府高校との試合に6回コールドで負けてしまいましたが、これまで所属していた野球部員としての活動で多くのことを学ぶことができました。応援していただいた全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

後輩には「甲子園出場」という大きな目標に向かって、大変なことも多いと思いますが、頑張っって絶対に達成して欲しいと願っています。

野球部1年
村上孝太【富山県杉原中学校出身】

初めての夏の大会を終えましたが、悔しい気持ちでいっぱいです。3年次生最後の大会で、これまでたった一人でのために頑張ってくれた先輩に勝利をプレゼントすることができず、また自分たちも持つ力を出し切ることができずに終わってしまいました。この悔しさを忘れずに、来年の山梨県予選で優勝し「甲子園出場」という目標を達成したいと思います。



全校野球応援



生徒会+吹奏楽部
日吉陽己【身延中学校出身】

野球応援での演奏は、吹奏楽部にとって「青春」であるとは思っています。そのため、全員と一緒に全力を注ぐことができることに魅力を感じてきました。野球部の本気さや応援側の一体感が良いハーモニーを作りだし、あらたな風が吹いたように思います。野球部のみなさんにスタンドの声が少しでも届いたなら幸いです。

男子ソフトボール部

2019南部九州インターハイ出場!



男子ソフトボール部
近藤夏希【南部中学校出身】

8月5日から宮崎県日向市で開催された南部九州インターハイに、山梨県代表として出場してきました。3年次生として最後のインターハイということもあり、想像以上に緊張しました。それでも試合が始まれば普段の練習の成果を発揮することができ、身延高校らしいプレーができていたと思います。インターハイを通してチームとしての団結を強く感じましたが、個人としても3年間で成長できたなど実感しました。同じ目標に向かって切磋琢磨できる最高のチームメイトと、インターハイという最高の舞台に立つことができ、非常に良い経験ができたと思います。

男子ソフトボール部
望月隼【南部中学校出身】

国体関東ブロック大会にソフトボール少年男子山梨県代表として出場しました。高校生として最後の大会ということもありとても緊張しましたが、とても楽しい思い出として大会を締めくくることができました。目標としていた結果には届きませんでしたが、良い仲間とここまでソフトボールができて本当に良かったと思います。この3年を振り返って一番良かったことは、良きソフトボール仲間たちに出会えたことです。みんなできつい練習を乗り越え、試合中にミスしても励まし合い、時には厳しい言葉を掛け合ったりなど、何でも言い合える仲間たちでした。ソフトボールからは一旦離れますが、卒業までこの仲間たちとともに様々なことを頑張っていきたいです。

第74回国民体育大会 関東ブロック大会出場!

